

教育委員会定例会会議録

令和8年7月16日（木）

教育委員会定例会会議録

令和8年7月16日午後3時00分教育長青柳和富が教育委員会定例会を茅ヶ崎市役所分庁舎5階特別会議室に招集した。

1 会議出席委員は、次のとおり。

教育長 青柳和富 委 員 赤坂雅裕 委 員 伊藤季美
委 員 伊藤甲之介 委 員 大森美保子

2 会議出席事務局職員は、次のとおり。

教育総務部長 中原健一郎	教育推進部長 森井武
教育指導担当部長 力石裕司	教育総務課長 小川剛志
教育施設課長 有本昌人	学務課長 小島英博
教職員担当課長 牧野桃子	学校教育指導課長 新居博志
青少年課長 鈴木俊也	社会教育課長 仲手川武
教育センター所長 松永昭治	図書館長 根岸恵子
小和田公民館担当課長兼館長 浅井志子	鶴嶺公民館担当課長兼館長 荒名穂子
松林公民館担当課長兼館長 西山昭一	南湖公民館担当課長兼館長 星谷尚央
香川公民館担当課長兼館長 松下晃久	博物館担当課長兼館長 須藤 格

3 会議の議事は、次のとおり。

午後3時00分開会

○教育長 会議の開会前に皆様にお知らせいたします。本日の定例会につきましては、議案が2件ございます。資料、議事日程につきましては事前に配付しておりますので、ご確認ください。それでは、ただいまから7月定例会を開催いたします。

日程第1、教委議案第42号、令和9年度使用小・中学校及び特別支援学級教科用図書の採択についてを議題といたします。担当事務局説明をお願いいたします。

学校教育指導課長。

○学校教育指導課長 教委議案第 42 号、令和 9 年度使用小・中学校及び特別支援学級教科用図書の採択についてにつきまして、学校教育指導課長よりご説明申し上げます。

議案書は 1 ページでございます。

本年度は令和 9 年度使用小・中学校及び特別支援学級教科用図書につきまして、継続採択年度となっておりますので、現在使用中の教科用図書と同一のものを採択することが、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条及び同法律施行令第 15 条 1 項において規定されております。

従いまして 5 月の定例会でご審議いただきご承認をいただいております令和 9 年度使用小・中学校及び特別支援学級教科用図書採択基本方針に基づき、令和 9 年度に使用する小・中学校及び特別支援学級教科用図書につきましては、2 ページから 5 ページにお示しした教科書を採択いただきますよう、よろしくご審議のほどお願いいたします。

○教育長 説明が終わりました。ご意見、ご質問等がございましたらお願いします。特にご意見等がなければ、教委議案第 42 号、令和 9 年度使用小・中学校及び特別支援学級教科用図書の採択については、原案のとおり決定することではいかがでしょうか。

(異議なしの声)

○教育長 それでは、原案のとおり決めます。

次に日程第 2、事務報告、令和 8 年第 2 回市議会定例会についてを議題といたします。担当事務局説明をお願いいたします。

教育総務部長。

○教育総務部長 日程第 2、事務報告、令和 8 年第 2 回市議会定例会についてにつきまして、教育総務部長よりご説明いたします。

まず初めに議案書 7 ページをご覧ください。

令和 8 年 6 月 8 日に本会議第 1 日目として、先議案件の趣旨説明が行われました。一般質問においては、ちがさき自民クラブ、水本定弘議員より、水難事故防止対策について、ご質問をいただきました。

6月9日には、本会議第2日目として、公明ちがさき滝口友美議員より児童の熱中症対策についてを、ちがさき自民クラブ金子遥議員より胃がん対策についてを、絆・新政・新しい風木山耕治議員より、AI・ICT時代の教育の深化とネットリテラシー教育について、及び子どもと教職員の命を守る学校防災と地域連携の充実について、ご質問をいただきました。

6月10日には本会議第3日目として、公明ちがさき菊池雅介議員より、茅ヶ崎市の英語教育について、ちがさき立憲クラブ吉川ひかり議員より教職員の働き方改革について、ご質問をいただきました。

6月11日には本会議第4日目として、会派に属さない議員藤本恵祐議員より子どもの視力低下についてを、市民の声ちがさき清野匡志議員より、茅ヶ崎市の伝統文化について及び図書館の運営についてご質問いただきました。

議案書8ページ、6月12日には本会議第5日目として、市民の声ちがさき藤村優佳理議員より、学校現場における支援体制の充実と校務環境の改善について、日本共産党茅ヶ崎市議会議員団今井理華議員より生理の貧困及び生理の尊厳について質問をいただきました。

続きまして、議案の趣旨説明、議案の委員会付託、議案第76号から89号、農業委員会委員の任命について、報告第4号から14号報告、それぞれについて行われました。

6月18日には、議案第66号、令和8年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第2号）所管部分について、及び陳情第3号、公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情について、文化教育常任委員会にて諮りました。

議案第66号補正予算については、まず歳入ですが、学校教育指導課において、命を大切にする心を育むため、児童や学校職員に加えて保護者を対象とした講演会等を実施することに伴い、県からの支出金18万円を計上したものととなります。

続いて歳出ですが、先ほどの学校教育指導課における、命を大切にする心を育むための講習会等実施のため、18万円の歳入を充て、報償費、消耗品費を増額したものでございます。

続いて教育総務課においては、西浜中学校屋内運動場のバスケットゴールの修繕に伴い、90万2000円を修繕料として増額補正したものでございます。

最後に繰越明許となりますが、教育施設課にて予定しておりました汐見台小学校の電気給湯器

工事において、夏休み期間中の工事を予定しておりましたが、納品が間に合わないため、2836万6000円を翌年度に予算を繰り越したものとなっております。

陳情第3号においては、公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情でございました。なお、本陳情は不採択となりました。

6月26日には本会議第6日目として、追加議案の趣旨説明、議案の委員会付託、各常任委員会審議について行われました。

最後に議案書9ページ、6月29日には本会議第7日目として、各案件最終審議が行われました。なお議員からの質問内容等につきましては、お手元の資料をご覧くださいと思います。私からの説明は以上となります。

○教育長 説明が終わりました。ご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。赤坂委員。

○赤坂委員 はい。15ページの中学校における英語教育について質問いたします。

本市の平均正答率が全国平均を5ポイント以上上回ったと書いてあるんですけども、すごいことですね、5ポイント以上も上回っているって。どうしてこんなにいいんですか。書いてあることありますが、ちょっと詳しく教えていただけないでしょうか。よろしくお願いします。

○教育長 学校教育指導課長。

○学校教育指導課長 はい。お答えいたします。いくつか要因はあると考えていますが、1つ目に、本市は小学校の外国語教育におけるガイドラインを独自に作っており、毎年それを確認しながら進めています。特に、本市の目標として大切にしていることは、相手意識を大切にするということです。

小学校の段階では、目的や場面、状況を意識させながら外国語に慣れ親しむ活動を大切にしています。

中学校においては、日常的な話題や社会的な様々な事象について、互いの考えや気持ちを英語で表現し合う活動をペアやグループで行うことを積み重ねています。

また、外国語教育担当者の先生方が集まる会の中で、同じ講師の先生をお招きし、小学校と中

学校の接続を意識しながら9年間の中での英語教育を継続的に研究していることの成果が出てきていると感じています。

あとは本市の特徴として、姉妹都市であるホノルル市郡との学校交流といったところで、オンラインでチャレンジしたときもありましたが、メールや手紙でお互いの市や国の文化を伝え合う機会をとおして、考えをそこで伝え合う活動もしている学校もあります。そういった活動の積み重ねがよい結果に繋がっていると感じています。以上です。

○教育長 ありがとうございます。他にご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。

伊藤甲之介委員。

○伊藤甲之介委員 19ページのところで、これ多分ですね、教職員の働き方改革についての質問に対する教育長さんの答えだと思うんですけども、時間外在校勤務時間を削減することのみを目的とするのではなく、教職員一人一人が心身ともに健康を保ちながら、やりがいを持って教育活動に取り組むことができる、働きやすい環境を整備していくことが大事だ、というふうに答えられて、まさしくそのとおりだと私も考えるところです。

今後そうですね、より一層このような方向で充実させていただければなというふうに、思うところです。それが1点目。

もう1点目はですね、23ページに魅力的な図書館のことについて、答弁がされているところですけども、魅力的な図書館ということとも関連しましてですね、私、学校訪問にお伺いしましたら、「ブックトークしてますよ」って校長先生がおっしゃったんですね。この辺のところについてもし、お話をいただけるならばお願いできればと思うところです。これが関連していれば、答弁の場でもブックトークとか入れていただけると、もっと充実したものとなったかなと思ったところですけども、この辺のところについてはいかがでしょうか。以上です。

○教育長 学校教育指導課長。

○学校教育指導課長 はい。お答えします。本市では、小学校に読書活動指導協力者を派遣し、本年度は年間に各学校20回程度、13名の協力者の皆様にご協力をいただいています。

ブックトークの中では、例えば、誰もが簡単に真似できないような、感情を交えながら話すことで共感を得られるストーリーテリングをはじめ、本の入口の紹介をして学校図書館に行きた

いと思えるような紹介の仕方をするなど、多くの子どもたちは気持ちがわくわくし、目を輝かせながら聞いています。

その他に、手遊びを交えながら、リラックスをさせながら聞かせたり、パネルシアターをしたりするなど、様々な手法で子どもたちが読書に親しむ機会をたくさん提供してくれています。読書活動指導協力者の学校からのニーズも非常に高く、読書離れとよく言われますが、専門的な力を有している方々のご協力に、本当に価値のある取り組みだと感じています。

また、1人1台端末にも、今、図書館で人気のある本を紹介したりするなど、そういった連携も工夫しながら、学校教育における読書活動を進めています。以上でございます。

○伊藤甲之介委員 ありがとうございます。ブックトークっていうのは、茅ヶ崎市の図書館でっていうよりは、これ学校図書館ってことですね、その活動だということですね。

○学校教育指導課長 はい。

○伊藤甲之介委員 わかりました。ありがとうございます。

○教育長 図書館長。

○図書館長 市立図書館では、図書館から講師の方を派遣しまして、中学校の方でブックトークの授業をやっております。実績としましては7校30クラス、ブックトークの講師を派遣いたしまして、授業でブックトークを実施し、本と読書の魅力を引き出したというところになります。

夏休みについては、夏休み応援ブックトークということで、特別に博物館と協力して、7月末に2回、「見つけた」というテーマでブックトークをした実績がございます。

あわせて、ブックトークの実践者を育てるという意味でも講演会を開催し、ブックトークの裾野を広げることを目的に、ブックトーク実践者の育成にも取り組んでいるところでございます。以上でございます。

○教育長 教職員担当課長。

○教職員担当課長 はい。教職員担当課長お答えいたします。働き方改革の視点は、先ほど委員がおっしゃったとおり、教育環境をより良くしていくっていう視点が非常に大事だというふうに考えています。当然、児童生徒にとってもそうですし、加えて教職員にとっても働きやす

い職場であることが肝要かと思います。特に、自分の弱みをきちんと職場で出せたりとか、困りごとを話せたりっていうことは、心身ともに健康に働く上で非常に大事なことだと考えています。そういったところで、同僚性や職場の上司や話を聞くこと等により、心身ともに健康に1年間、教職員が働けるということを大事に考えています。以上です。

○伊藤甲之介委員 ありがとうございます。同僚性っていう言葉がね、大事な言葉が出てきて、それはどうやって指導してるんですか。指導じゃないですけどね。

○教職員担当課長 はい。何よりまずは管理職が職場の同僚性を育てていくというところを意識しなくてはいけないというふうに考えています。

各職員会議であるとか、研修会の折にはそういったところを発信し、さらにミドルリーダー、それから総括教諭、そういった学校内では学年や学級のリーダーになりうる立場からも発信をしていくことが大事だというふうに、考えています。以上です。

○伊藤甲之介委員 聞いていいですか。

○教育長 はいどうぞ。

○伊藤甲之介委員 図書館長さんからですね、博物館と連携してっていうことがお話しされたと思うんですけども、どのような感じで連携をされてて、もう今年度「夏期休業中はこんなことやるぞ」みたいなのが、もしありましたら教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○教育長 博物館担当課長。

○博物館長 はい。博物館担当課長お答えいたします。ブックトークの取り組みですけれども、開館時から図書館の協力をいただきながら、開催させていただいております。

昨年度につきましては、夏休みに図書館をまず1回目の会場として、Wi-Fiが整備されておりますので遠隔で図書館と博物館を結ぶ。2回目に、今度は博物館を会場にして、図書館の職員の方に、本を多く持ってきていただいて、展示してある資料等に関係する本をたくさん持ってきていただいて実物と本をつなげるという、文字の学びと実物からの学びを行うことで、学びの深みを出していくという取り組みをしております、今年度も実施を予定しております。

夏休みですので、やはり自然関係のことに興味を持つお子さんも多いので、そういったことを

織りまぜながら、ブラッシュアップを図っているところでございます。大変好評の事業でございます。

○教育長 はい。魅力的な図書館についていろいろと連携した取り組み、ありがとうございます。他にございますでしょうか。よろしいですか。特にご意見等がなければ、日程第2、事務報告を終了いたします。

以上で本日の議題はすべて終了いたしました。これをもちまして本日の定例会を終了いたします。大変お疲れ様でした。

午後3時19分閉会